

令和7年度 すぎと町民大学 第11回 「杉戸町の遺跡」②

令和7年10月25日(土)、すぎと町民大学講座「杉戸町の遺跡」②を開催しました。今回は、泉地区にある「目沼浅間塚古墳」を実際に訪れ、社会教育課の守谷 学芸員による解説に耳を傾けました。学生の皆さんには、古墳が作られた経緯や杉戸町に残る古墳について、現地でしか味わえない臨場感とともに熱心に学んでいました。

その後は、ふれあいセンター「エコ・スポいづみ」に移動し、文化財展示室を見学。守谷学芸員からは、町内から出土した縄文時代からの遺物を前に、当時の生活様式がうかがえる貴重な解説がありました。さらに、村上学芸員からは江戸時代や明治時代のパネル資料を基に当時の暮らしを具体的に説明いただきました。また、明治天皇が杉戸町を行幸した際の絵画からは、当日の天候や天皇をお迎えする人々の様子まで読み取ることができ、学生の皆さんには歴史のワンシーンをありありと想像している様子でした。現地と展示室、二つの学びの場で、杉戸町の歴史の奥深さを再発見する講座となりました。

目沼浅間塚古墳を視察する学生



出土品を前に、学芸員の解説に聞き入る学生

